

単 位 数	教 科 担 当 者	使用教科書・補助教材・その他
5 (4)	早川 洋志	生物 (数研出版) 新課程 フォトサイエンス生物図録 (数研出版) 改訂程 リードα 生物基礎+生物 (数研出版)
必 履 修 学校必履修 ○必修選択 自由選択		

◆学習の目標

「生物」の学習を通して、科学的に探究するために必要な資質・能力を身に付ける。

◆主な学習内容・方法

- ・「生物の進化」、「生命現象と物質」、「遺伝情報の発現と発生」、「生物の環境応答」、「生態と環境」について学習する。
- ・講義や話し合い活動、生徒実験を行う。

◆到達目標と観点別評価の評価規準

単元ごとの到達目標は次ページの「学習到達目標」のとおり。

〔観点別評価の評価規準〕

○知識・技能

基本的な概念や原理・法則の理解を深め、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けることができる。

○思考・判断・表現

観察、実験などを行い、科学的に探究することができる。

○主体的に学習に取り組む態度

生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究し、生命現象を尊重し、自然環境の保全に寄与することができる。

◆年間予定授業時間

予定時数	5単位：175時間（1学期：64時間 2学期：73時間 3学期：38時間） 4単位：140時間（1学期：52時間 2学期：56時間 3学期：32時間）
------	--

◆学習のしかた（予習・復習・宿題・課題・その他）

- ・授業 基礎基本を中心に扱う。自分で課題を設定して検証したり、友達と話し合ったり、教員に相談したりする中で、探究的に学習を進める。
- ・復習 まとめは各自行う。授業で学んだことや考えたことを整理することに加え、自分で演習を通して力を伸ばす。
- ・問題集の扱い 問題集は各自で解き進める。自分で計画的に学んでいく姿勢が大切。

◆授業計画 単元ごとの時間数の（ ）内は4単位の場合

学期	月	単元・教材等	単元ごとの時間数	学習の内容	学習到達目標
1 学期	4	(1) 生物の進化	30 (25)	生命の起源と細胞の進化 遺伝子の変化と進化の仕組み 生物の系統と進化	(1) 生物の進化について、授業で扱う内容を理解し、観察、実験などの技能を身に付け、表現できる。
	5	(2) 生命現象と物質	30 (25)	細胞と分子 代謝	(2) 生命現象と物質について、授業で扱う内容を理解し、観察、実験などの技能を身に付け、表現できる。
	6				
	7	(3) 遺伝情報の発現と発生	30 (25)	遺伝情報とその発現	(3) 遺伝情報の発現と発生について、授業で扱う内容を理解し、観察、実験などの技能を身に付け、表現できる。
2 学期	8	(4) 生物の環境応答	30 (25)	発生と遺伝子発現 遺伝子を扱う技術 動物の反応と行動 植物の環境応答	(4) 生物の環境応答について、授業で扱う内容を理解し、観察、実験などの技能を身に付け、表現できる。
	9				
	10				
	11	(5) 生態と環境	25 (16)	個体群と生物群集 生態系	(5) 生態と環境について、授業で扱う内容を理解し、観察、実験などの技能を身に付け、表現できる。
	12	(6) 総合演習	30 (24)	全般	(6) 大学入試に対応できる。
3 学期	1				
	2				
	3				